

が ん ば

島三小育友会報
発 行 部
広 報 部

〔第67号〕

さあ 夏休みだ

元気にあそんで

二学期にそなえよう…



ごあいさつ

副会長 成瀬博功



この一年間芝田副会長と共に会長を補佐して参ることに
なりました。よろしくご指導
のほどをお願い致します。

子どもたちも新しい学年、
学級とのなじみができ、同時
に育友会も、新たな希望に満
ち、いよいよ活動の時期を迎
えます。皆様多数の参加をお
願ひいたします。

思いますに、私達は多くの
優れた先輩により、はぐくま
れ形づくられた、恵まれた育
友会に加わることができたも
のです。長い三小育友会の歴
史は、それぞれの時代の、そ
れぞれの人々による、子供達
への「すこやかにたくましく
育って欲しい」という、変ら
ぬ希望と願ひのひたむきな努
力の歴史であると思ひます。

先日、教養部主催で訪問し
ました大村の放虎原小学校は、
人口増により新設になった小
学校。ここでは、育友会の体
型造りと日常活動が、同時に
進行するというあわただし
い時期にありました。よくやっ
ておられると思ひながら、
むしろ大変だろうと同情の気
持ちがいたしました。

子ども達の三小は、その豊かな歴史のなかに、父兄等の対人関係も安定し、本当に恵まれた教育環境をかもしている
と、つくづく思った次第です。
さて、先日、痛ましい自転車
事故が発生いたしました。
かと悔いが残ります。
幼い子に、自らの命を自ら
守れといつても無理なこと
です、危険に対する判断力に
ついては同じです。そこには
周囲の心のこもった指導が
必要です。そのことが、時と
してその子の父兄等に誤解さ
れ、批判を受けることがあると
しても、勇気を持って、その子
の為の指導をすることが、平
等な育友会の姿であり、共に
育てるといふ、本会の存在価
値もあると思ひます。

中村憲二君の事故が、三小
に投げた衝撃はあまりにも大
きい。この衝撃が風化するこ
とのないよう、お互いの胸に
きざんで、今後は、一つの幼
い命が絶えることのないよう
幼い笑顔が絶えることのない
よう、会員皆様が行動して欲
しいと思ひます。

どの子も等しく、どの会員
も等しく、今日の、明日の、
すばらしい第三小育友会を、
皆んなで創りましょう。

持たせよう

心の免許証



自動車運転する人ならば、老人と子どもの自転車にヒヤリとさせられた経験が、おありでしょう。交通事故の統計をみても、老人と子どもの自転車で、その理由は、以外に多いのです。その理由をいくつか述べてみましょう。

まず、自転車運転の技術の稚拙さがあげられるでしょう。二輪という不安定な乗り物を操るには、バランス感覚がすべてなのです。小学生、特に低学年や幼児にそれだけの運動神経が十分に発達しているとは思えません。

次に、子どもたちの注意力のなさも指摘できるでしょう。注意力は、危険への予測の濃密さによって生じます。こうすれば危ないのではないかと、といった予測ができれば、当然、注意する力が働きます。その予測のほとんどは、生活経験に支えられています。生活経験の乏しい子どもたちに注意を促す場合、そのことを十分考えておかなければなりません。

さらに、交通ルールの不徹底もあげることが出来ます。平気で道路の真ん中や右側を通行していますし、交差点で

の右・左折の方法も十分ではありません。学校での交通指導などで子どもたちは、そのルールを知っているのではありませんが、確実に守っている姿は皆無に等しいでしょう。

自動車はヨロイにたとえらば、自転車は裸同然といえます。まさしく、危険がいっぱいの状態です。このように考えてみますと、子どもの自転車乗りは全面禁止、と叫びたくなります。しかし、冷静に考えてみますと、交通機関としての自転車は、手軽さ、利便さなどの点で、十分な市民権を得ているのです。その自転車を子どもたちから取り上げてしまつてよいものかどうか、短絡的な結論は出せないでしょう。しかし、今のままで放置することはできません。子どもたちに、更に安全な自転車の運転を指導し、要求していくなければなりません。

ところで、ここに案外、私たちおとなが気付いていない落とし穴があります。それは、子どもたちが、自転車をおもちゃの延長としてとらえているということ。みなさんは、子どもからせが

まれて、家計をやりくりして「高価なおもちゃ」を買い与えているのではないでしょう。そこには「道路交通法の対象としての自転車」といった厳しさはなく、ただ甘えだけが残ります。自転車運転には免許証はいりません。しかし、買い与えた以上、子どもに「心の免許証」を持たせる責任があると

思います。法令を遵守すること、法令以前のルールをすすんで実行することなどを、買い与える時だけでなく、いつも子ども

最近の交通機関の発達に伴い、交通事故も年々、多発化しております。私達二年四組の中村憲二君も、その痛ましい交通事故の犠牲となつて、まだ幼い七歳の尊い命を絶たれましたことは、皆様の記憶に新しいことでしょう。決して他人ごととは思えません。ご両親の胸中は、いかばかりでありましょうか。

安全な生活を自らつくりあげていくために、子どもたち一人ひとりに「心の免許証」を持たせるよう、一緒に工夫してみませんか。(文責 大隅)

に意識させなければなりません。また、ルールに対するペナルティー(罰則)があることも理解させることが必要でしょう。たまには、信号無視の罰として一週間の使用停止を命じるなど、家庭で厳しさを身をもって感じとらせることが、子どもたちの心にたしかに免許証を刻みつけることになりま

二年四組学級代議員 高原 紀子

子どもがいたという話を聞かされた時に、私達親としてどうすれば良いのか考えさせられる問題でした。

ほとんどのご家庭で、交通のきまりや自転車乗りなどについての話し合いがいろいろな形でなされたことと思います。が、いくら口をすっぱくしていても、ルール違反する子もあつてしょう。このような問題について討論する時間があります。親が自転車には乗せない、交通安全には毅然とした態度でのぞもうということになりま

乗る前に安全確認の点検をする。(前後輪のブレーキ、後尾反射鏡、警報ベル、空気圧)また自分に合った自転車以外には乗らないなどのきまりが、案外守られていないのではないでしようか。毎年、夏休み前に行なわれます自転車点検や安全教室などにも低学年も参加させてもらえたらと思ひます。憲二君の死を無駄にしないためにも、交通のきまりを再認識し、学校・地域社会・皆で連携して、二度と事故をおこさないように、交通安全運動を展開していこうではありませんか。

先日の学級部会の時に、先生より、自分で自転車をもっている子ども、また、兄姉の自転車、友達の前を乗ったことのある子どもが七割近くもいたということや、憲二君の事故後も、乗って遊んだという

のが嬉しくて、ときどき通りの少ない家の前で乗つてくるようです。二小の交通のきまりでは、一・二年生は道路で乗らないようになつていますが、白山地区をみますと、広場や広い庭など、適当な場所がなかなかないようです。中学年以上も、国道や混雑する人ごみの中では乗らないと

専門部の動き

学級部

藤井リワ

五月二十五日、学級代議員研修会を行いました。各学級より、多数の方々のご出席を戴き、ありがとうございます。講師に市教育委員社会教育主事、加藤勝彦先生をお迎えして、「学級教育友会の活動と発展のために」と題してご講義をお願い致しました。おまかな内容をまとめて見ますと、次のようなことがいえるのではないかと思います。学校教育を理解し、家庭でど



去る六月十五日ソフトボールとフットベースボールの監督会議を開き、全町内出席のなか、充分協議し決定した事項を別紙で報告しております。練習場所と時刻は体育部で決定いたしました。
三小グラウンド、浦田下・坂上・元船津・坂下・広馬場・中組・白山・川尻・南風泊・八幡・湊新地
霊丘グラウンド、浦田上・白土上下・桃山・蛭子町・津町・有馬舟津・霊南

体育部

熊本勇治

練習場所がせまいので、隣接チームで話し合い練習試合をとおして各練習をして下さい。町内代議員の方々、監督さん、また、お世話下さる方々には大会が終るまで、いろいろと大変なことと思いが、子どもたちのために、今年も皆様方のご協力をお願い致します。くれぐれもケガのないようにご注意ください。
なお、市フットベースボール大会は、八月二十二日に開かれます。一チームでも多く参加して下さい。

るようにし、次回の出席率を高めるようにする。少しでも今後の活動にお役に立てばと願っています。それから、先生のお話の中に非行をなくすために、一日十分の親子ふれあいの時間をもつ。子どもに読書の楽しみを与えよう。家族の一員として、続けて行ける手伝いをやらせる。自分のことより、他人の立場でものごとを考えよう。とても、大切な教えではないかと思えます。中島先生、大隅先生お力ぞえありがとうございます。これから学級教育友会活動、発展のために、会員皆様方のご協力をお願い致します。

町内だより

新山東 前田 キヨミ

皆様、今日は。先日、広報部より活動の一端として、廻り順に町内報を出版されるようになり、新山東が最初の当番にあたり困っています。私は何もわからず手さぐりで、ただ名前だけの役員で心ぐるしく思っています。この残り少ない一年間を最後として、みなさんと一緒に仲良くがんばっていききたいと思っています。
私達、新山東の町内世帯数は七五世帯。児童数は一〇六名であります。この二、三年の間にぐーんと世帯数が増え、その前も多くて西と東に分けられたとか。また、なんだか二つの班に分けなければとても範囲が広くて、目ごとどこそもありません。
いよいよ子どもたちもソフトボールやフットベースボールの特訓が始まりました。今最大の悩みは、役員の選出に手間どり、出足が遅れたため、両監督さんも決めかね、やっと、ソフトボール(藤田雅英さん)フットベースボールに

(稲田定行さん)を無理にお願いし、引き受けていたのだ次第です。早速いろいろな問題が重なり、女の子の小さな気持ちの上での戦争が始まり、監督さんもホトホト手間どっておられる次第であります。子どもたちの立場になって、二時間あまり話し合いをしたけれど、何しろ相手は子どもであり、理解してもらったこともむずかしいし、大人の考え方で話したら、なおわかってもらえないし、学校の先生達の大変さが身にしみてわかりました。なかなか子どもと一つの心になるには、もともと時間がかかりそうです。毎日仕事は済ませ、自分の時間はないようにして特訓して下さる両監督に敬意を表し、どうかこの一年間見守らないで宜しくお願い致します。長い目でゆっくりに一つの心になることを望み、お父さんやお母さんと共に力を合わせ、親子・仲の良い新山東になりますよう頑張ります。
最後になりましたが、先日、中村君の事故の際は告別式、大変お世話様になりましたことを、この紙上をおかりして厚くお礼申し上げます。

研修旅行を終えて

教養部 岩崎 暁子

今年度の研修旅行は特に学級集会に力を入れ、活動されている大村の放虎原小学校を選び約三十五名ほどで、訪問いたしました。

学校の概要としては、大村市立中央小学校より分離して五年目で学級数十九、児童数七一四名、育友員も、ほとんどが自衛隊勤務の方だそうです。会長さんも島原出身の方だそうで約二十名の役員の方が出席されて、意見交換も活発でした。特に三小との違いは、学級の役員さんで評議員、専門部として、各クラスから七名の方が出られているというところと各学年の学級集会の年間行事計画がよく立てられていることです。これは私達学級代議員としても、大変参

夏休みの生活について

生活部

古井 久輝

子どもたちにとって夏休みほど楽しく又、開放的な気分になって生活できることはないと思います。学校生活から離れ、家庭での生活が中心となり、家の方も大変忙がしく、目が離せないことと思います。遠出したり、プールへ行ったり、一歩外へ出たらなかなか目が届きませんか。外で何をか遊んでいるのか、かいてもく



考になりました。どの学校も授業参観、懇談会に、いかにして多くの方に参加していただくかということが悩みの種でした。それと同校は母親の役員さんがほとんどで非常に熱心に育友

見当もつきません。そこで自分の子どもと友達と誰であるか、よく知り確かめて下さい。また、町内のお子さん達の顔も覚えられて目を配ってあげて下さい。注意もして下さい。学校でのきまり、約束。一、あそびに行く時の行き先、帰りの時間を守る。一、名札をつける。一、用もないのに商店街へ行

会活動に取り組みました。反面三小のように、育友会行事のほとんどに、多くの父親が参加されるといふことは、誇りに出来ると思います。他校の良い所は学び、取り入れ、また、三小の良い所は、大いに伸ばして、三小育友会が今後、益々発展していくことを念願いたします。

- 一、インベーダーゲーム、その他のゲームなどしない。
- 一、人におごったりおごられたり、お金の貸し借りはしない。
- 一、飲食店での飲食は家の人とする。
- 一、見知らぬ人についていかない。
- 一、むだづかいほしない。
- 一、近所の人、知っている人に会ったらあいさつをする。
- 一、特に親子で話し合われ、守って事故のない夏休みにしていきたいものです。
- また、皆さんに考えていただいた立派な生活標語も掲示されております。非行は夏休みから始まるといっても過言ではないと思います。今までは張りつめていた緊張感が崩れ、気がゆるみ、だらだらとした生活になりがちです。夕食の楽しい時間など一日の出来事を父と子、母と子、そして兄弟姉妹、家族で語り合い、明日への糧としていただけたらと思います。

親の目

「家庭での親」

坂上町 馬場 武弘

早く芽を出せ柿の種、早く花咲け……、早く実になれば……、芽を出せば実を結べ、親の心情ははやるものです。どんな種でも芽の出の早い遅いはあるものです。家庭でしっかりと見守ってやるべきではないでしょうか。家庭は子どもたちを育成する場として、あるいは、新しいモラルを生み出す場としてしっかりとバツクポーンをもっていなければならぬと思います。家庭は心身の安定感を得るところであり、ホッとする故里のようなところとす。家庭に安定感があることは人間育成の基礎であり、非行防止の上で大切なことではないでしょうか。

ことに心身ともにアンバランスの思春期の子どもは、社会の安定感とその子どもの心身を危険から守る防波堤になるのではあるまいか。家庭に安定感があったこそ、子どもは家庭の外の誘惑にも負けず、正しい態度で社会に適応できるのです。一番大切な家庭は、家庭の者がみなお互いに理解しあえることだと思います。特に、親子が理解するためには、交流の場が必要です。私の家庭では食事の時、あるいは、子どもと一緒に入浴中などの機会に話す場を持ち、学校のできごと、友達関係を知ることが出来ます。そのなかで感じることは、最近球技が年々盛んになっておりますが、球技に参加できない子どもたちを、町内子どもクラブから忘れられかけているように感じます。体育の不得手な児童のために夏休み期間中に地域における野外活動や、文化活動など積極的に実施してほしいものです。実践活動としてお年寄りを囲み、子どもたちと竹細工やいろいろなおもちゃ作り、植物採集、昆虫採集などたくさんあるかと思えます。このようないろいろな活動によって物質的な豊かさだけでなく、感動する心や精神的な豊かさを大切にすることの追求、自己啓発と相互理解や信頼関係が確立されていくものと思



生活標語入選作品

島三小生活部

今年で七年目を迎えた生活標語は、応募者六百十五名、作品数千二百三十点が寄せられました。

回を重ねるたびに、内容の充実したものが多くなり、揭示用として使用する作品の選出にも、いろいろと苦勞をしました。

そのような中で、次の二十点を優秀作品として採用し、順次各町内に掲示することに

子どもウツ紹介

《浦田上》

部長 瑞泉 誠

ぼくたち浦田上は、男子二十七名、女子二十六名、合計五十三名の子どもクラブです。活動としては、まず、月に一回の廃品回収があります。空ビンや古雑誌などを集めて回ります。

次に、ソフトボールやフットベースボールの練習です。

男子は、五月と夏休みのソフトボール大会、女子は、夏休みのフットベースボール大会に備えて、みんな熱心が

致しました。
ご協力ありがとうございました。

五時の鐘

あの子も誘って帰ろうよ
中組町 二年 松尾 将功

何事も 進んで参加

栄町 五年 内川真理子 隆 司

んばっています。

また、その他、夏休みに行なわれる町内旅行やクリスマスなどのケキ配りなども、楽しい行事の一つです。

このように、みんなで協力して、楽しい子どもクラブになるようにがんばっています。

でも、残念なことが一つあります。それは、お菓子やパン、アイスクリームの買い食い

です。家で食べるのほうがいいが目立ちます。とくに、男子が多いようです。

これからも、浦田上の悪い所をなおし、少しでも向上させていきたいと思えます。

ちり一つ

拾う勇氣と心がけ

気をつけよう

目上の人への言葉づかい
新山西 五年 出田 達也

きめたこと みんなで守ろう

よい子供
靈南町 五年 吉田 千春

あぶないよ 危険がまつてる

二人乗り
坂上町 四年 苑田 美保

あぶないよ とび出し危険な

まがりかど
白山町 六年 多田 佳代

気を許すな 車はいつも

赤信号
崩山町 三年 池田和寿久

登下校 なれた道でも

注意して
浦田下 四年 八木 正芳

あいさつで 人の輪町の輪

みんなの和
新山東 六年 立光佳奈子

あいさつは 心と心の

むずびあい
栄町 二年 佐藤まさよ

良い悪い はつきり言える

強い子に

愛の一言を

自分の子・他人の子に
坂上町 六年 阿比留 寛

いけないよ うそをついたり

かくしごと
坂上町 二年 酒井まさよ

横断歩道 みんな一緒に

安全確認
坂上町 二年 横田 伸天

いつまでも 黙っていないで

さあ、そうだん
広馬場町 五年 大町智恵

やって良いこと悪いこと

判断できる よい子ども
坂上町 六年 松崎 洋士

「もらった・ひろった」は

悪の道への第一歩
栄町 三年 松尾小百合

時刻を守ろう 集団登校

みんなにめいわくかけません
湊町 四年 本多 健一

おもいやり

あなたも持っているその心
蛭子町 三年 古井 淳

編集後記

後記



第六十七号の企画、内容を検討する為に、広報部会を開催したのは、紫陽花の満開の時期でした。そして、又、中村君の悲しい自転車事故があった直後でもありました。

夏休みを前にして、今一度事故の恐ろしさ、悲しさを、再認識していただき、何かと気のゆるみがちな長い夏休みに、二度と起きないように、注意しあっていききたいものです。

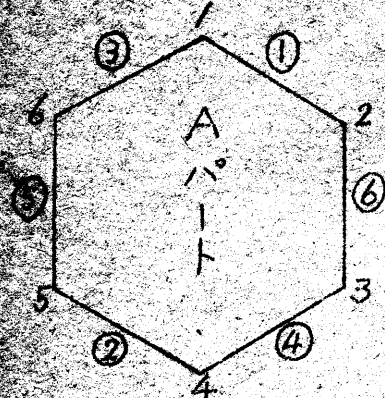
中村君の御冥福を心からお祈り致します。

各専門部の一学期の活動状況も報告していただきました。児童の健全育成の為に、日夜を問わず、頑張っておられます。大変ご苦労さまでした。

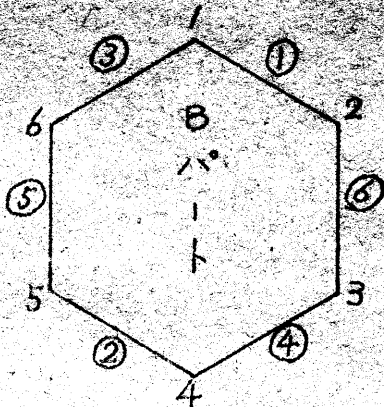
次回六十八号は、十月末頃になると思いますが、広報部では、企画、内容とも充分検討し、少しでも向上した「がんば」になるよう頑張りたいと思っておりますので、会員皆様のご協力を心からお願い致します。

<ソフトボール>

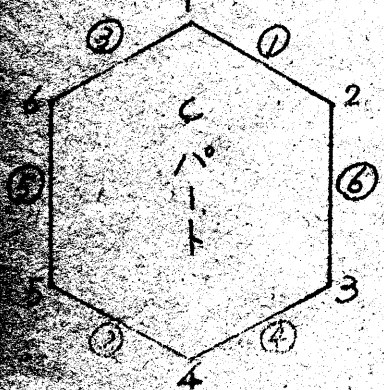
○の数字は試合数



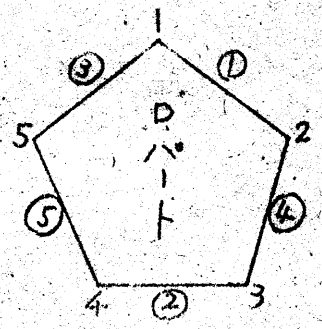
- ・浦田下
- ・新山西A
- ・下川尻
- ・靈南A
- ・栄町
- ・浦田上



- ・坂上
- ・新山東
- ・崩山
- ・元舟津
- ・八幡坂下
- ・広馬場
- ・中組 浪新地
- ・新山西B

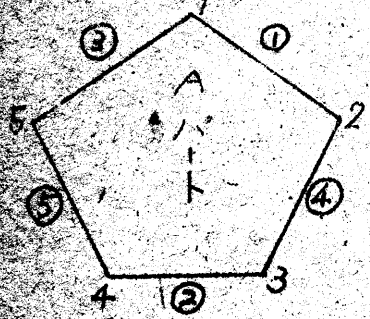


- ・緑町
- ・桃山
- ・白山・川尻
- ・南風泊
- ・有馬舟津
- ・津町
- ・南川尻A

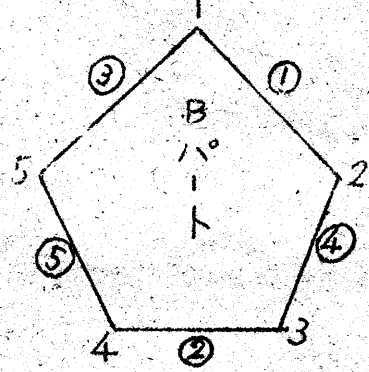


- ・白土舟津上
- ・白土舟津下
- ・南川尻B
- ・蛭子町
- ・靈南B
- ・白山 蛭子

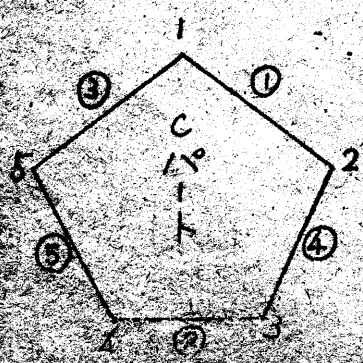
<フットベースボール>



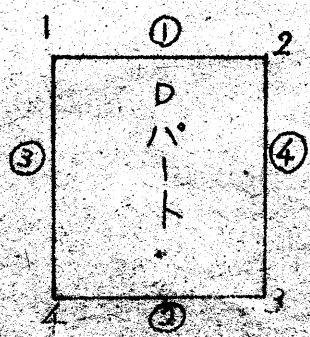
- ・新山東
- ・中組・白山
- ・広馬場
- ・元舟津
- ・浪新地
- ・浦田上
- ・坂上



- ・新山西
- ・有馬舟津
- ・川尻
- ・南風泊
- ・浦田下
- ・南川尻



- ・靈南
- ・崩山
- ・白土舟津上
- ・白土舟津下
- ・下川尻
- ・桃山 蛭子町



- ・栄町
- ・緑町
- ・坂下八幡
- ・津町